

# とよころ 議会だより No.126

## 3月 定例会

### 定例会あらまし

令和8年第1回定例会は、3月3日に開会しました。

1日目は、補正予算や条例改正など26件の議案審議等を行い、いずれも原案どおり可決、同意等しました。

10日 2日目は、一般会計、4特別会計及び2事業会計の令和8年度予算について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

12日 最終日は、3名の議員が一般質問を行ったほか補正予算1件と意見書案1件を原案どおり可決し、閉会しました。

まずは、令和8年度当初予算の概要からお伝えします。

### 令和8年度当初予算

## 高校入学祝金10万円ほか 子育て支援策を再構築

### 当初予算の概要

令和8年度一般会計当初予算は53億100万円です。前年度6月本予算との対比では10・2パーセントの減となりました。

ただし、前年度からの繰越予算額が11億8,525万円となっており、新基本計画実装・農業構造転換支援事業（加工用ばれいし）集出荷施設（再編）5億9,940万円など大型事業が予定されています。

特別会計のうち、医療施設特別会計は、豊頃病院の医療機器整備により16・2パーセントの増となりました。事業会計の前年比増の理由は、工事請負費の増加などによるものです。

### 令和8年度 各会計の予算額

		予算額	前年(6月本予算)比
一般会計		53億 100万円	△ 10.2%
特別会計・事業会計	国民健康保険	5億 6,733万円	△ 2.1%
	介護保険	4億 536万円	△ 0.8%
	後期高齢者医療	8,591万円	7.3%
	医療施設	1億 366万円	16.2%
		11億 6,226万円	0.4%
	簡易水道事業	4億 6,800万円	25.6%
	公共下水道事業	3億 1,625万円	19.1%
		19億 4,651万円	8.4%
	合計	72億 4,751万円	△ 5.9%

※ 1万円未満は四捨五入しています。

## 防災体制の強化

衛星通信端末機器購入 260万円

国道336号津波緊急避難場所の通信環境改善のため、移動式 Wi-Fi スポットを購入。

大谷議員の一般質問が反映されました

令和7年9月定例会  
「津波避難対応の検証  
及び今後の災害に対  
する備えについて」



地域防災倉庫及び資機材購入

620万円

自主防災組織がある地区を対象に、地域防災倉庫と資機材を整備することで、地域の防災力を強化します。

## 暑熱対策

熱中症警戒アラート対応温度計

100万円

高齢の方が自宅で熱中症になることを防ぐため、危険度を光と音で知らせる温度計の導入をすすめます。

アリーナ空調設備設置工事

2,860万円

夏の暑さ対策のほか避難所としての快適な環境を確保するため、総合体育館アリーナに空調設備を整備します。

小笠原議員の一般質問が反映されました

令和7年9月定例会  
「今後の暑熱対策にお  
ける町の方策・方針につ  
いて」



## 移住・定住対策

町内就業者定住促進事業補助金

150万円

町内で就業している方を対象に、奨学金の返還や転入費用の一部を補助します。

## 産業振興

新基本計画実装・農業構造転換支援事業補助金 5億9,940万円

(令和7年度繰越明許費)

豊頃町農協が実施する加工用ばれいしょ集出荷施設の再編事業に対し補助します。既存の施設を集約し、バラ積み貯蔵方式の冷蔵施設を整備する予定です。

営農用水確保対策事業 250万円

営農用水の安定的な確保のため、井戸掘削や貯水タンク整備の費用の一部を補助します。

※対象経費の4分の1を補助  
(上限金額50万円)

坂口議員の一般質問が反映されました

令和7年9月定例会  
「営農用水の導入につ  
いて」



漁業経営近代化促進事業補助金

600万円

船体の延命化のための船体改修や漁労性能を向上させるための機器整備などを補助します。補助率は2分の1(上限金額120万円)です。

# 新年度予算ここに注目

新規事業を中心に、新年度予算の主なものをお伝えします

## 子育て支援策の見直し

未就学児中心の子育て支援から  
高校卒業まで切れ目のない支援へ

高等学校等入学祝金 200万円

高等学校等へ入学する生徒の保護者に対し、入学祝金10万円が支給されます。



修学旅行費交付金 161万円

小学6年生の修学旅行費交付金を1人あたり1万円から2万円へ増額。中学3年生の修学旅行費交付金を1人あたり2万円から5万円へ増額。

高校生の修学旅行費交付金を新設。  
(1人あたり2万円)



高等学校等就学助成金 684万円

通学定期代の値上げなどを踏まえ、就学助成金が月額7,000円から月額1万円に引き上げられます。



次世代育成支援金 1,160万円

保育料が実質無償化となっていることから、保育所通所支援金は廃止されます。

また、出産祝金は、これまで第1子10万円、第2子20万円、第3子以降30万円支給されていましたが、一律10万円に見直されます。



小笠原議員の一般質問が反映されました

令和7年6月定例会  
「インフレ下での各種助  
成金の見直しについて」



物産直売所木製複合遊具等整備工事 3,500万円

物産直売所に木製の複合遊具などを整備し、滞在型施設として機能強化を図ります。



とよこ物産直売所

総合体育館屋内遊具 650万円

天候に左右されずからだを動かすことができるよう、総合体育館に幼児向け屋内遊具を整備します。

◎ 後藤議員 未就学児の利用を想定しているが、安全対策や遊具の衛生管理は。

▲ 教育課長 安全性の高い遊具を選定し、保護者同伴の利用を基本とする。日常点検と注意喚起を徹底する。定期的な清掃、消毒を実施する。

## 条例改正

いずれも原案どおり可決しました。

▼豊頃町国民健康保険条例の一部改正  
令和12年度の統一保険税に向け

た段階的な税率改正のほか、「子ども・子育て支援納付金課税額」の新設、海外からの転入者を対象とした前納制度の新設など。

▼豊頃町減債基金条例の一部改正  
一部改正

基金の運用方法拡充のため、現金を有価証券に代えることができ旨を新たに規定。

▼豊頃町高等学校等就学助成金交付条例の一部改正

高等学校等就学助成金を現行の月額7千円から月額1万円に引き上げるもの。

▼豊頃町入学祝金支給条例の一部改正

高等学校等へ入学する生徒の保護者に対し、入学祝金10万円を支給することを新たに規定。

## 人事案件

▼豊頃町介護保険条例の一部改正  
税制改正の影響により、これまで住民税非課税だった方が課税とみなされる場合が生じるため、令和8年度に限り、令和7年度の保険料額まで減免できる旨を規定。

▼人権擁護委員候補者の推薦  
鳥宮彰子（とりみやあきこ）氏を再度選任したいと諮問があり、適任と答申しました。

なお、任期は令和11年3月31日までの3年間で。

▼豊頃町固定資産評価審査委員会委員の選任  
中村哲哉（なかむらてつぎょう）氏の再任に同意しました。

なお、任期は令和11年4月21日までの3年間で。

## その他

▼豊頃町過疎地域持続的発展市町村計画の策定  
過疎地域である本町の持続的発展に関する目標などを定めた計画の策定について、原案のとおり可

決しました。

▼工事請負契約の締結  
次の2件について、いずれも原案のとおり可決しました。

幌岡西2線改良工事（その2）  
契約金額 6,776万円

大津地域津波緊急避難場所  
避難路整備工事（路盤改良）  
契約金額 6,149万円

## 補正予算

▼専決処分の承認（令和7年度豊頃町一般会計補正予算（第10号））  
令和8年1月23日付で町長が専決処分した補正予算を原案のとおり承認しました。

補正内容は、2月8日執行の衆議院議員総選挙等の事務経費です。

そのほか、一般会計、4特別会計、2事業会計の補正予算がそれぞれ提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

主な補正内容は、JA豊頃町加工用ばれいし集出荷施設再編のため「新基本計画実装・農業構造転換支援事業」に5億9,940万円を追加するほか、年度末による予算精査などによるものです。

		補正額	予算総額
一般会計	第9号	2億1,404万円	
	第10号	583万円	
	第11号	1億2,177万円	
	第12号	5億9,940万円	71億8,042万円
国民健康保険	第2号	△3,917万円	5億4,055万円
	第4号	△701万円	4億4,080万円
	第2号	△89万円	7,924万円
介護高齢者医療施設	第2号	△422万円	1億524万円
	第3号		
		補正額	予算総額
簡易水道	第7号	(収益的支出) △959万円	3億4,882万円
		(資本的支出) △386万円	2億2,000万円
公共下水道	第2号	(収益的支出) △1,219万円	2億2,352万円
		(資本的支出) △1,276万円	1億6,297万円

各会計の補正額  
（1万円未満は四捨五入）

（1月19日開催）  
令和8年第1回臨時会

▼令和7年度豊頃町一般会計補正予算（第9号）  
主な補正内容は、物価高騰対応クーポン券発行や公共土木施設の災害復旧事業など。

## 一般質問

A Q

## 多面的機能支払交付金

### 団体設立に向け、支援体制を整えたい

### 今後の活用方針は

小笠原議員は、農地維持活動の今後の方策として「多面的機能支払交付金」の更なる活用と、農地インフラの今後の整備方針について一般質問を行いました。

### 多面的機能支払交付金 今後の活用方針は

農業はわが町の基幹産業の一つですが、担い手不足と大規模化が進み、農地維持活動の継続が困難になっています。

多面的機能支払交付金は、農地維持活動の継続に有効だと考えますが、本町での活用は1団体と普及しなかった要因と今後の促進方針について伺います。

町長 本町における制度の実施状況は、二宮環境保全会の1団体、対象農用地面積1,824ハクタールです。

現在、新たに2団体が前向きに検討していると聞いております。他の地域に取組が拡大しなかつた要因は、組織の設立を率先して行う人手や地域の合意形成が必要なことに加え、事務作業の負担がかかるイメージから、取組に理解を得られなかったのではないかと考えます。

地域の合意形成や事務作業の外部委託など、町の支援体制について伺います。

他の自治体では、事務作業の外部委託先のマッチングを行っている事例もあるようです。

町長 町で間接補助しているため、町としても書類を検査するので、その中でやり方などを指導することはできます。

事務作業の外部委託については、事務作業がかえって煩雑になるおそれがあり、交付金から委託

料を支払わなければなりません。また、デジタル技術の進展により事務負担はいくぶん軽減されていると思います。まずは前線で取り組んでいただくことが望ましいと考えています。

外部委託先のマッチング制度については、団体から必要だという話があれば、管内の事例を調査した上で、委託先をまとめる必要があると思っています。

### 多面的機能支払交付金

農業・農村が有している多面的機能（自然環境の保全や良好な景観形成など）を維持するため、地域の共同活動を支援する事業。  
農地法面の草刈りや水路の補修など、実施した面積に応じて交付される。

### 農地インフラ整備方針は

農地インフラ（農道や橋りょう、水路など）について。

整備から30年以上が経過し、改善が必要箇所が生じています。また、近年、農業機械の大型化が進んでいることから、機械が通れず作付けに影響が生じることも考えられます。

以上を踏まえ、今後の農地インフラ整備方針について伺います。

町長 これまでは壊れたら直す「事後保全」という考え方が主でしたが、これからは壊れる前に点検して長寿命化を図る「予防保全」に考え方を転換し、コスト軽減を図りながら農地インフラを適切に維持修繕したいと考えております。



おがさわら げんき 小笠原 玄記 議員

# 高額療養費の負担増への対応について

## A 制度の持続性を踏まえつつ、生活への影響に配慮したい

### 高額療養費 自己負担限度額引き上げについて

高額療養費制度は、重い病気や長期療養が必要な方が安心して治療を受けるための「命綱」です。しかし、政府は一旦凍結した高額療養費制度の自己負担限度額引き上げについて、令和8年8月に一律に引き上げた上で、令和9年8月には現在の4つに分けられている所得区分を13区分に細分化し、大幅な負担増を計画しています。

物価高騰が続く中、更なる負担を強いることは、受診控えなどを招くおそれがあります。

町長は、高額療養費制度の自己負担限度額引き上げについてどのように考えていますか。

A 町長 高額療養費制度は、重い病気や長期療養が必要となる場

合でも、過度な自己負担を抑え、安心して医療を受けられるための重要な制度だと認識しています。

現在、国では、患者団体、保険者、医療関係者、有識者などを交え、高額療養費制度のあり方について議論が進められているところ

です。高額療養費制度が患者や家族の生活を支える重要な役割を果たしていることを前提としつつ、高齢化や高額な薬剤の開発などに伴う医療費の増大に対応し、制度を堅持するための方策について整理されているところです。

私個人の見解として、制度改正の良し悪しを明言することは控えますが、「誰もが必要なきに安心して医療を受けられる環境を維持することこそが、最も重要であると考えています。」

### 町として独自の支援を行う考えは

Q 高額療養費の自己負担限度額引き上げについて、町で独自の補てんをする考えはありますか。

A 町長 医療費負担を町が直接補てんすることは制度上難しいと考えています。

制度改正により生活に影響が及ぶ可能性があることは重く受け止めており、

今後の状況を把握するとともに、制度の内容を理解していただけるよう周知に努めながら、暮らしを支えるためにどのようなことができるのか担当課と連携しながら対応していきたいと考えています。

# 特色ある茂岩市街地づくりに向けた取組

## A 町民参加のワークショップで意見反映したい

大崎議員は、町政執行方針の施策推進について

- ① 人口減少対策
  - ② ゼロカーボン施策の推進
  - ③ 特色ある中心市街地づくり
- 以上3つの視点から一般質問を行いました。

### 人口減少対策について

Q 本町の令和8年1月末現在の人口は2,765人、前年同月比90人、3.2パーセントの減となっている。

今後の人口減少対策について町長の考えは。

A 町長 人口減少は全国的な課題で、本町においても出生数の減少や高齢化の進行などで人口減少が進んでいます。

本年3月に策定した「豊頃町ま

ち・ひと・しごと創生総合戦略」では、将来人口推計を踏まえた上で、2030年度の総人口の目標を2,598人とし、4つの基本目標に基づき、施策を体系的に整理しました。

人口減少は短期間で改善できる課題ではありませんが、総合戦略に基づき、施策の効果検証を行いながら、持続可能な地域づくりを進めてまいります。

Q 例えば、定住促進のために町外通勤助成を行っています。対象は60歳までです。定年延長などを受け、対象を拡大する考えは。

A 町長 町外通勤助成は、当初、若者向けの事業として始めましたが、更なる定住促進を目的に、対象を40歳から60歳まで拡大したところ。

今後、社会情勢の変化などを考慮した上で検討したいと思っております。

### ゼロカーボン施策進捗と今後の取組は

Q 本町は令和6年3月に「ゼロカーボン宣言」を表明しました。2030年までの削減目標の経過実績と今後の取組について伺います。

A 町長 経過実績については、温室効果ガス排出量を算定するのに専門的な分析が必要であることから、現状では把握しておりません。令和9年度を中間年、令和12年度を最終年として、それぞれ集計分析し、公表する予定です。

今後の取組については、2030年度までに温室効果ガス排出量を基準年の2013年比で46パーセントの削減を目標に、町民や事業者と連携しながら、再生可能エネルギーの導入促進などを進めてまいります。

# 特色ある茂岩市街地づくりに向けた取組は

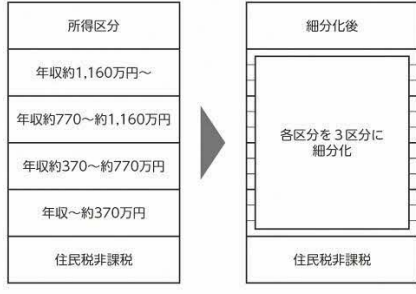
Q 茂岩市街地の空き店舗が目立ちますが、将来の構想について町長の考えを伺います。

A 町長 人が集い交流できる場をつくるのが重要だと思っております。

現在、茂岩本町の消防庁舎の建て替えを計画していますが、これも市街地づくりの一つの契機だと捉えています。

今後、商工会をはじめ、関係団体と調整を図りながら、町民参加型のワークショップの開催を予定しています。

地域の皆様の意見をしっかりと伺いながら、特色活かした魅力ある市街地づくりを進めてまいります。



▶ 所得区分の細分化のイメージ  
 ※現在国で審議中の内容であり、今後変更となる可能性があります。  
 出典：社会保障審議会（医療保険部会 高額療養費制度の在り方に関する専門委員会）



